

岡山県感染症週報

2011 年 第 38 週 (9 月 19 日 ~ 9 月 25 日)

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。**◆2011 年 第 38 週 (9/19 ~ 9/25) の感染症発生動向 (届出数)****■全数把握感染症の発生状況**

第 36 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O 145 20 代 女)

第 37 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 4 名 (O 103 幼児 女 1 名・児童 女 1 名、
O 111 児童 男 1 名、O 157 10 代 女 1 名)

4 類感染症 レジオネラ症 2 名 (50 代 男 1 名・女 1 名) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○RS ウイルス感染症は、前週とほぼ同数で、9 月下旬としては患者が多い状態です。

○インフルエンザは、発生がありませんでした。

○流行性角結膜炎は、患者数が減少し、備中地域は感染症発生レベル 3 からレベル 1 になりました。

○流行性耳下腺炎は、全県では減少し、備中地域は感染症発生レベル 2 からレベル 1 になりました。

○ヘルパンギーナ・手足口病は、全県で減少しました。

- 腸管出血性大腸菌感染症は、9 月に 12 名、2011 年は 9 月 28 日までに 58 名の発生がありました。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。
- RS ウイルス感染症の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数で (定点あたり 0.31 → 0.30 人)、9 月下旬としては患者が多い状態です。
RS ウイルス感染症については『**今週の注目感染症**』をご覧ください。
- インフルエンザは、今週岡山県では発生がありませんでした。
厚生労働省の第 37 週 (9/12~9/18) 速報値によると、患者が発生している都道府県はまだ少なく、全国の定点あたり患者数は 0.02 人と低いものの、愛媛県では 19 名の患者が報告されています。
- 流行性角結膜炎は、第 34 週から備中地域で感染症発生レベル 3 がつづいていましたが、レベル 1 になりました (定点あたり 8.00 → 1.00 人)。
- 流行性耳下腺炎の定点あたり患者数は、前週より減少しました (定点あたり 1.59 → 1.20 人)。患者の多かった備中地域でも減少し (4.14 → 2.00 人)、感染症発生レベルはレベル 2 からレベル 1 になりました。全県では減ったものの 9 月下旬としては過去 10 年に比べ依然として患者が多いため、感染に注意して下さい。
- ヘルパンギーナ・手足口病の定点あたり患者数は、全県で減少しました (定点あたり ヘルパンギーナ 0.65 → 0.52 人、手足口病 1.24 → 0.89 人)。ヘルパンギーナ・手足口病患者からの検出ウイルスは、7 月末まではコクサッキーウイルス A6 型が主でしたが、8 月以降、ヘルパンギーナからはコクサッキーウイルス A10 型が、手足口病からはコクサッキーウイルス A16 型が検出されています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RS ウイルス感染症	→	★
咽頭結膜熱	↘	★	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↘	★
手足口病	↘	★	伝染性紅斑	→	★
突発性発疹	↗	★★	百日咳	→	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↘	★★★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↓	★	クラミジア肺炎	→	

【記号の説明】

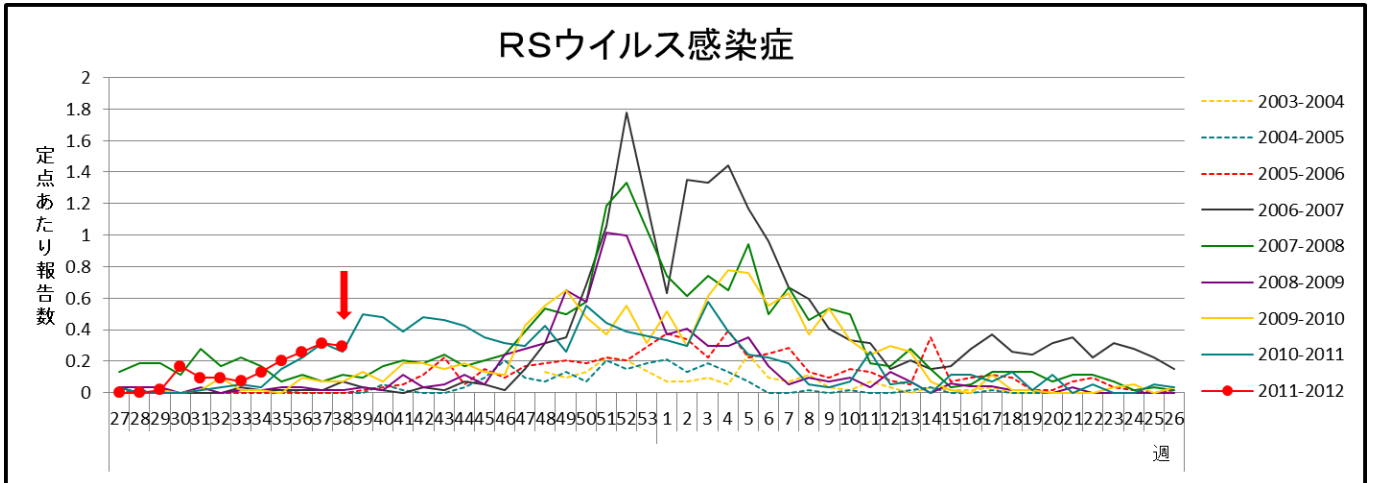
前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

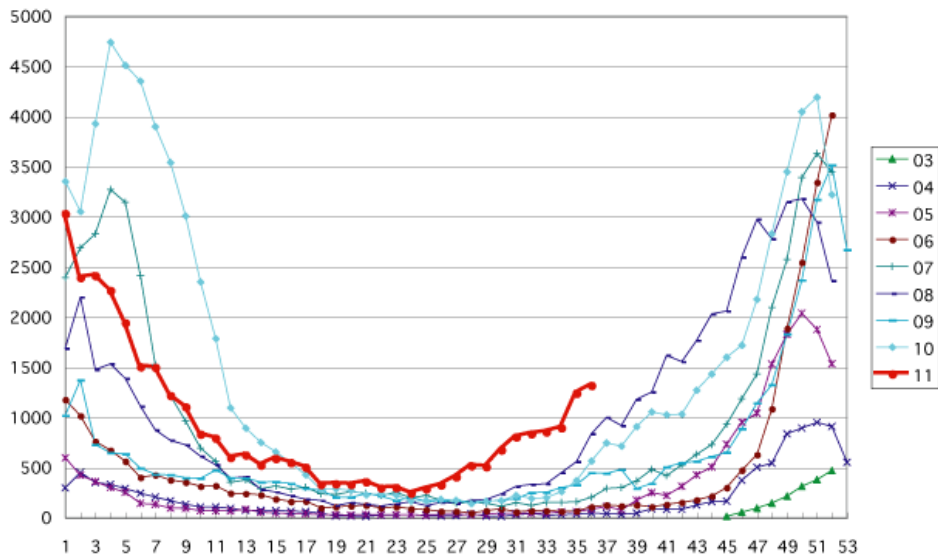
今週の注目感染症

RSウイルス感染症



※RSウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年27週～翌年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

全国のRSウイルス感染症 過去との比較グラフ
 国立感染症情報センター 第36週 週報より



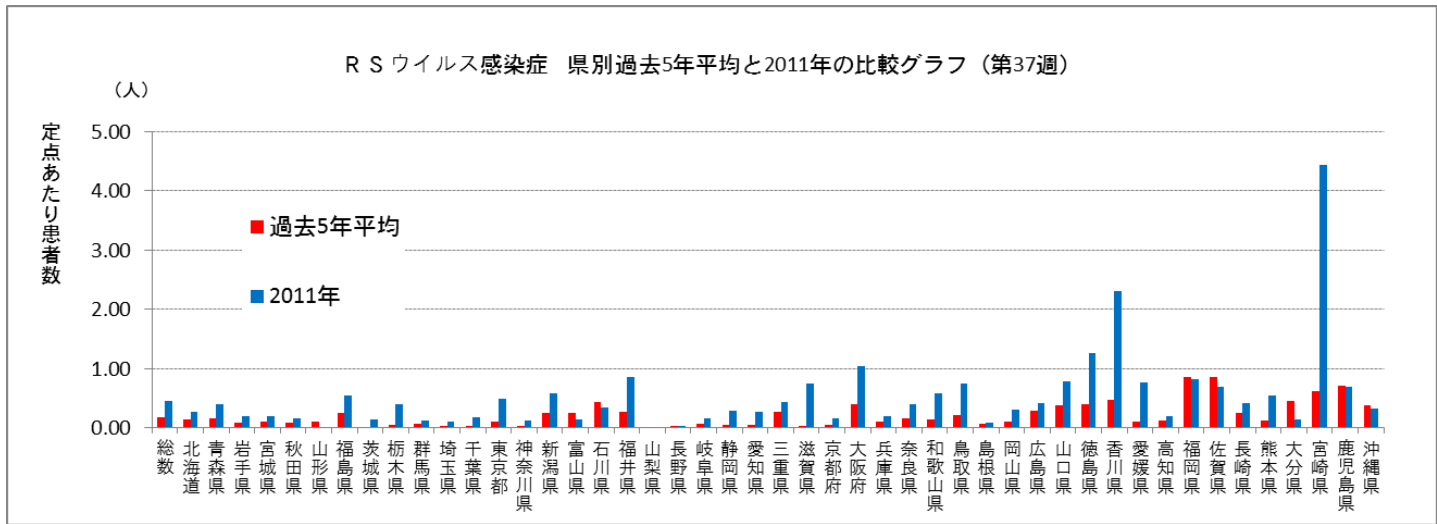
RSウイルス感染症は、前週とほぼ同数で（定点あたり0.31→0.30人）、データのある2004年以降では、9月下旬としては患者が多い状態です。国立感染症情報センターによると、全国でも、例年であれば低い水準で推移する夏から患者の増加が認められ、2004年以降の同時期としては最多の状態が続いていると報告されています。特に西日本で患者増加が顕著であり、岡山県ではまだ患者が少ないものの、同時期の過去5年平均と比べると多くなっています。

岡山県の患者年齢分布は、先週までは90%が1歳以下の乳幼児でしたが、今週1歳以下の乳幼児は70%にとどまり、残り30%は2～4歳でした。

RSウイルス感染症は、重篤性や合併症から特に乳幼児において極めて重要な感染症であり、今後秋から冬にかけてさらに患者の増加が予想されています。お子さんの体調に注意して、早めに医療機関を受診しましょう。

(国立感染症情報センター 第35週 週報)

R S ウイルス感染症 県別過去5年平均と2011年の比較グラフ（第37週）



【RSウイルス感染症とは】

RSウイルス感染症は、冬（11月～1月）に乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす急性呼吸器感染症で、乳幼児の肺炎の50%、細気管支炎の50～90%を占めるとされています。2歳までに、ほぼ100%の子供がこのウイルスの初感染を受けるといわれ、生涯にわたり感染を繰り返しますが、通常年齢が上がるにつれ重症化することが少なくなります。

流行の中心は1歳以下の乳幼児です。潜伏期は2～8日、発熱、鼻汁、咳などで発症し、通常8～15日で軽快します。しかし、初めてかかる乳幼児では、しばしば肺炎や細気管支炎を発症し、生後6ヶ月以下の乳幼児においては重症化することがあり、入院を要することもあります。1歳以下では重大な合併症を伴うこともありますので特に注意が必要です。

感染力は強く、患者との密接な接触や、咳やくしゃみによるウイルスの飛沫により感染します。予防には手洗い・うがい、手指の消毒、マスクの着用が効果的です。保育園や幼稚園などでは集団発生することがありますので、感染予防に心がけてください。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3 **数字** は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

保健所別報告患者数 2011年 38週 (2011/09/19～2011/09/25)

2011年9月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	16	0.30	3	0.21	7	0.64	1	0.10	-	-	-	-	-	-	5	0.83
咽頭結膜熱	13	0.24	6	0.43	1	0.09	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0.33	7	0.50	10	0.91	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	198	3.67	47	3.36	51	4.64	39	3.90	20	2.86	12	3.00	3	1.50	26	4.33
水痘	13	0.24	8	0.57	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	48	0.89	16	1.14	2	0.18	3	0.30	3	0.43	-	-	8	4.00	16	2.67
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
突発性発疹	26	0.48	8	0.57	9	0.82	3	0.30	1	0.14	1	0.25	1	0.50	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	0.52	9	0.64	3	0.27	2	0.20	6	0.86	-	-	1	0.50	7	1.17
流行性耳下腺炎	65	1.20	19	1.36	18	1.64	7	0.70	14	2.00	6	1.50	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	1	0.20	4	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 38週 (2011/09/19～2011/09/25)

2011年9月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	13	0.24	6	0.43	1	0.09	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0.33	7	0.50	10	0.91	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	198	3.67	47	3.36	51	4.64	39	3.90	20	2.86	12	3.00	3	1.50	26	4.33
水痘	13	0.24	8	0.57	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	48	0.89	16	1.14	2	0.18	3	0.30	3	0.43	-	-	8	4.00	16	2.67
伝染性紅斑	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	0.52	9	0.64	3	0.27	2	0.20	6	0.86	-	-	1	0.50	7	1.17
流行性耳下腺炎	65	1.20	19	1.36	18	1.64	7	0.70	14	2.00	6	1.50	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	1	0.20	4	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第38週 2011/09/19～2011/09/25)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

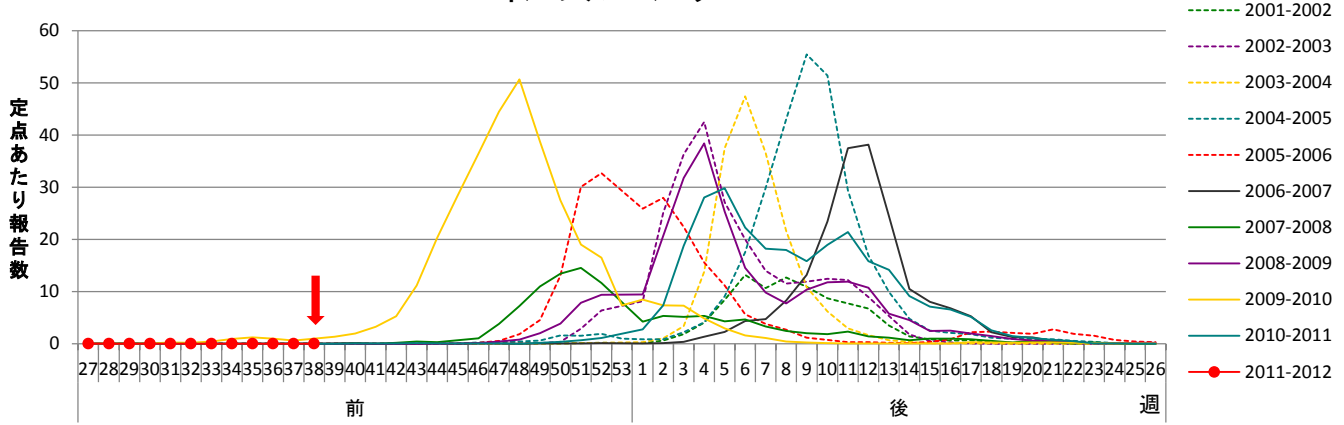
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	16	5	4	2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	13	-	-	2	4	1	3	-	-	1	-	-	-	2	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	-	-	2	2	1	2	2	2	2	2	-	2	1	
感染性胃腸炎	198	4	28	32	15	17	16	15	9	9	5	6	16	5	21
水痘	13	-	-	4	2	2	1	4	-	-	-	-	-	-	
手足口病	48	-	5	16	13	3	2	4	3	1	1	-	-	-	
伝染性紅斑	3	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
突発性発疹	26	1	12	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	28	1	6	6	9	2	2	1	-	1	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	65	-	1	7	6	5	9	11	12	4	3	3	2	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	1	-

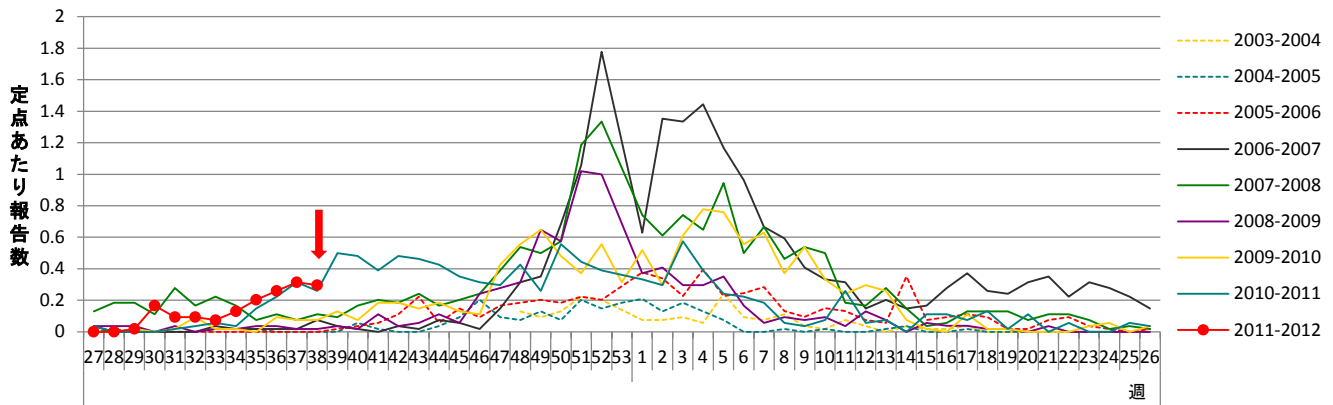
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

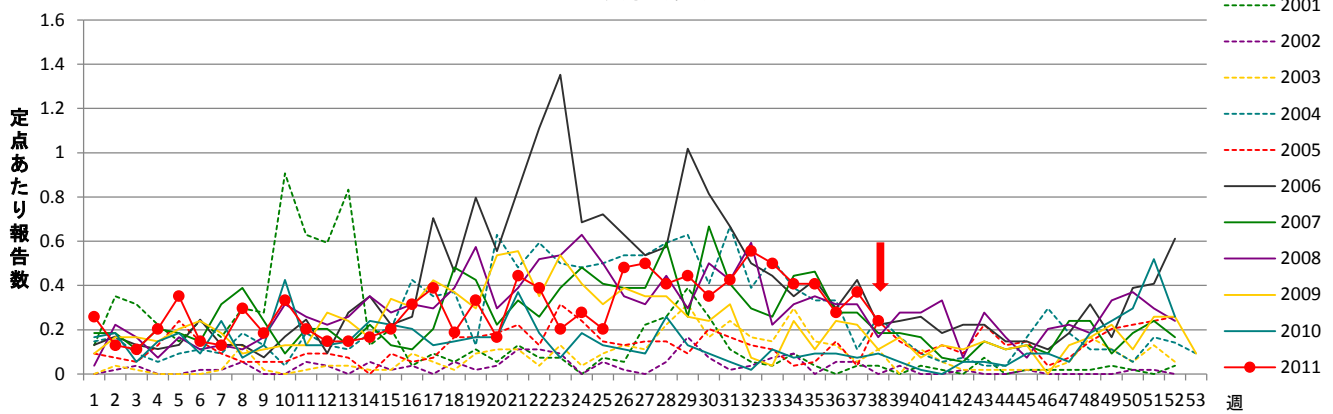
インフルエンザ



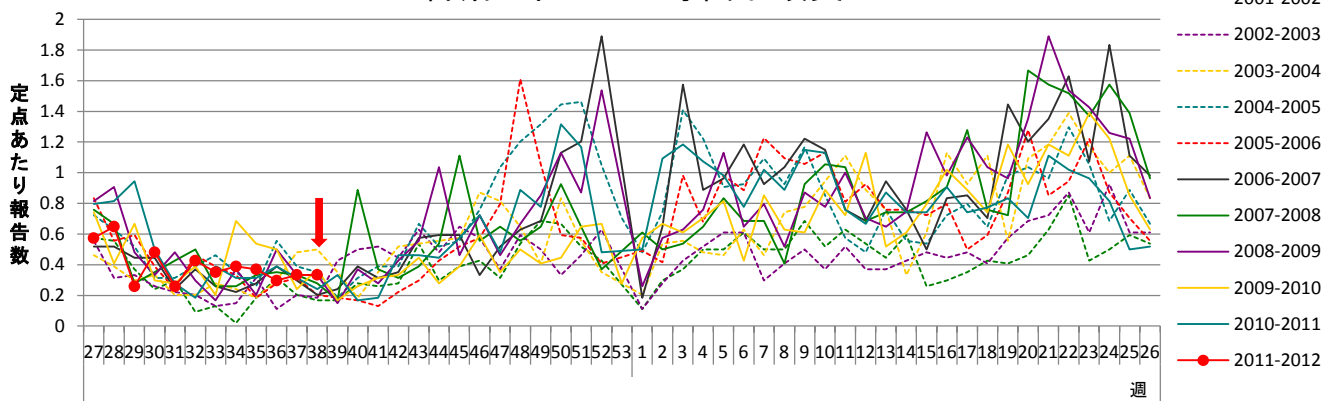
RSウイルス感染症



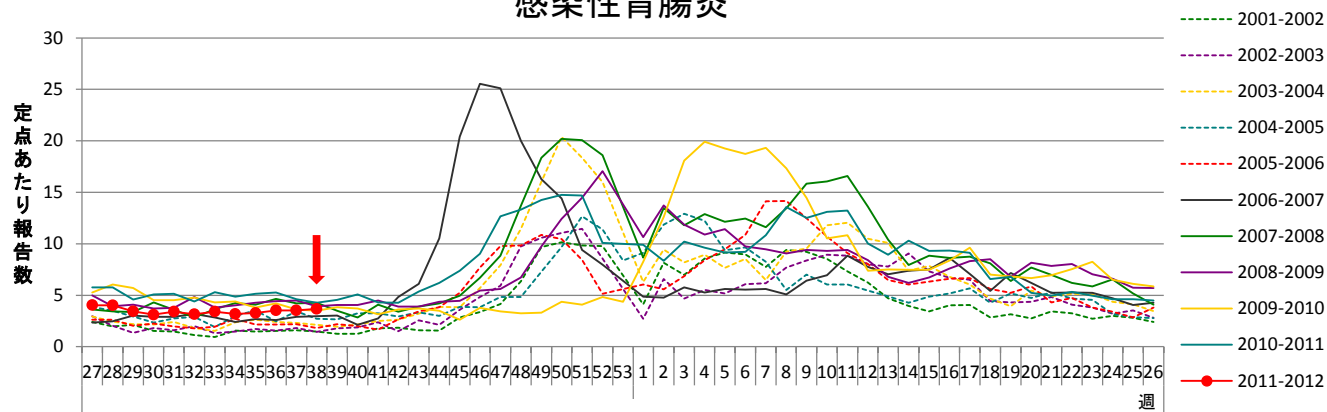
咽頭結膜熱



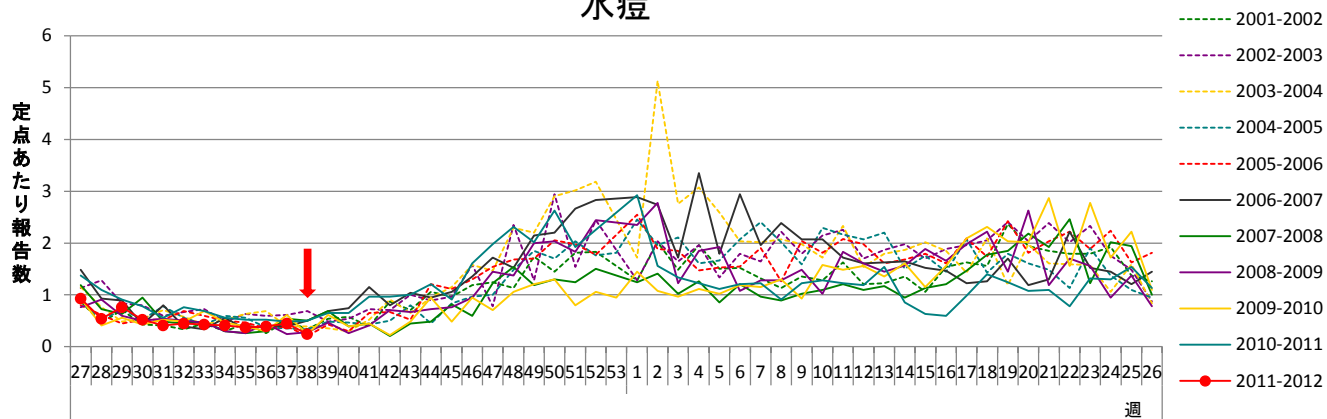
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



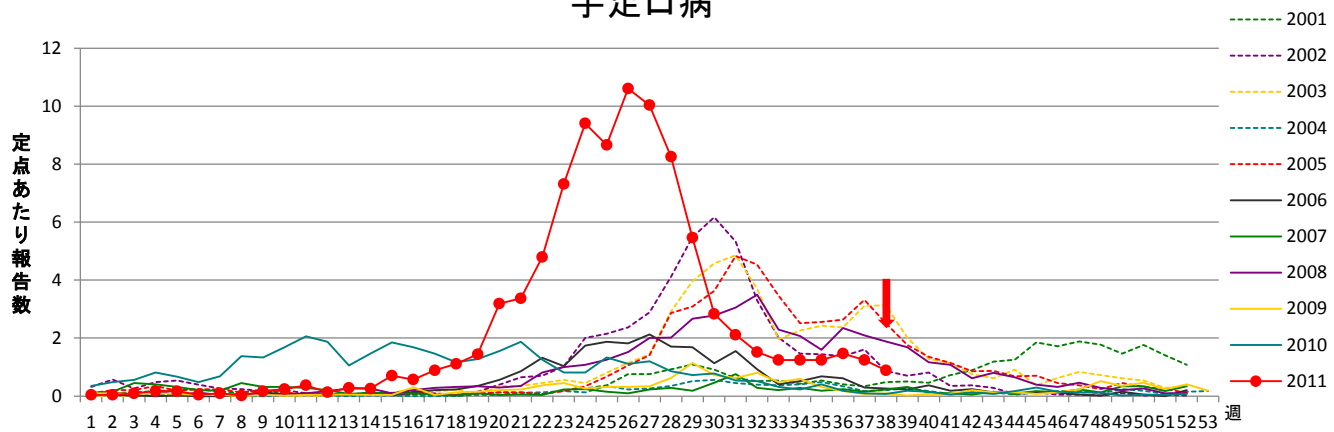
感染性胃腸炎



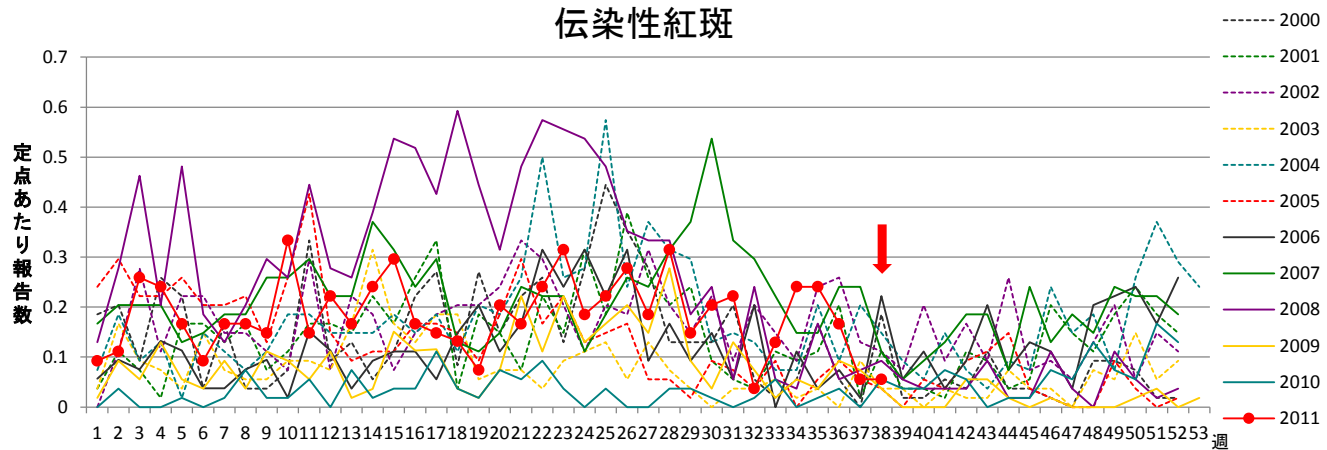
水痘



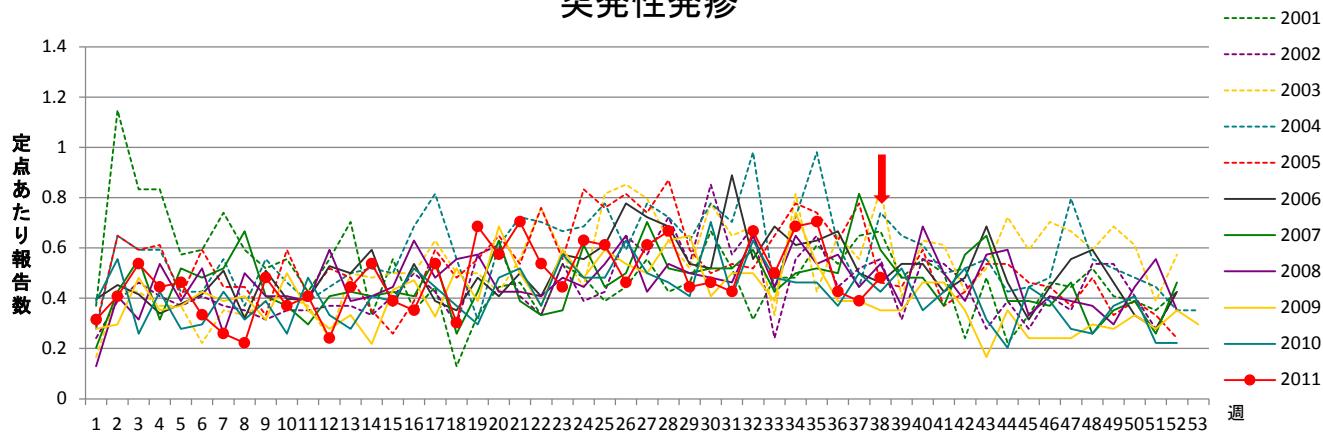
手足口病



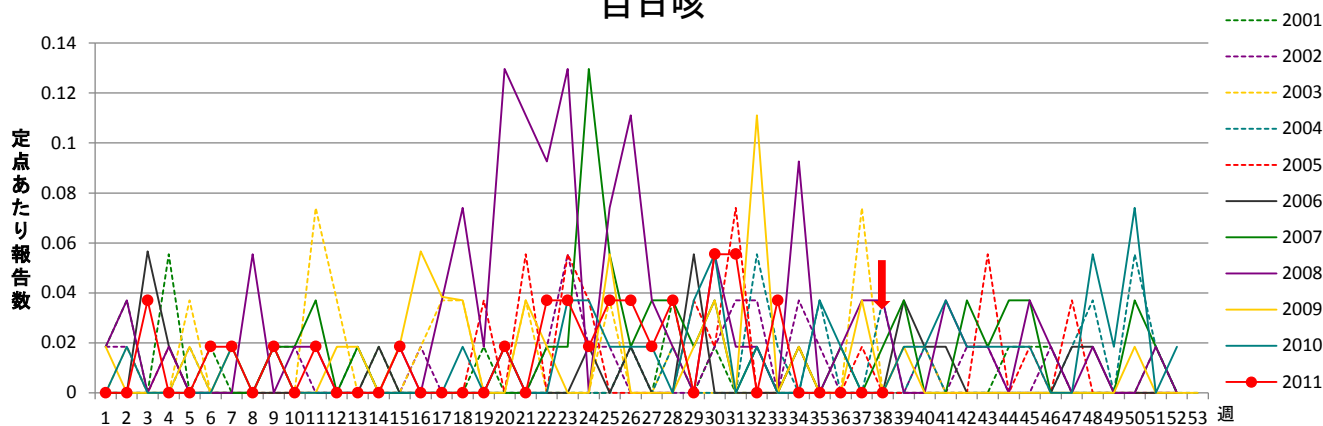
伝染性紅斑



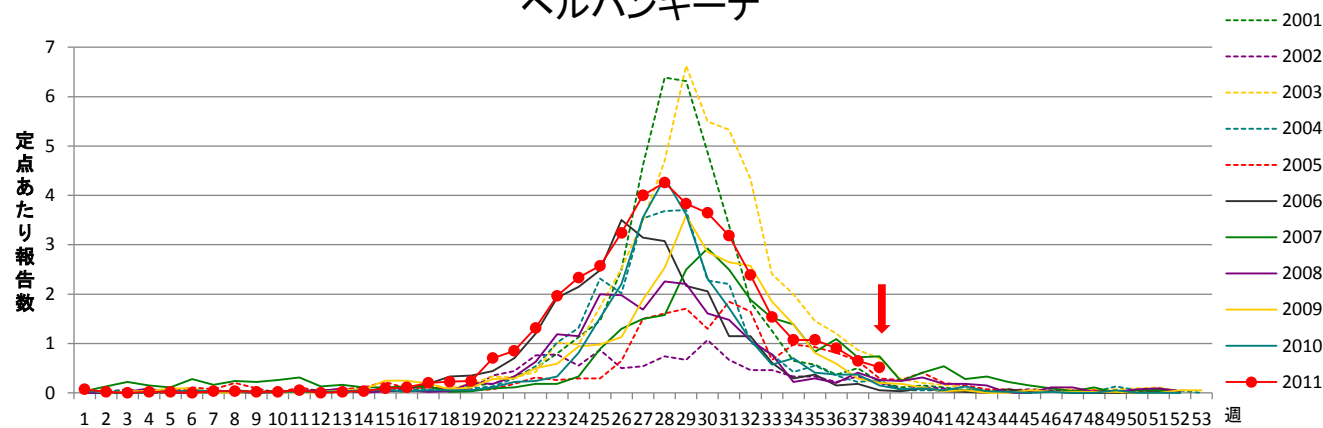
突発性発疹



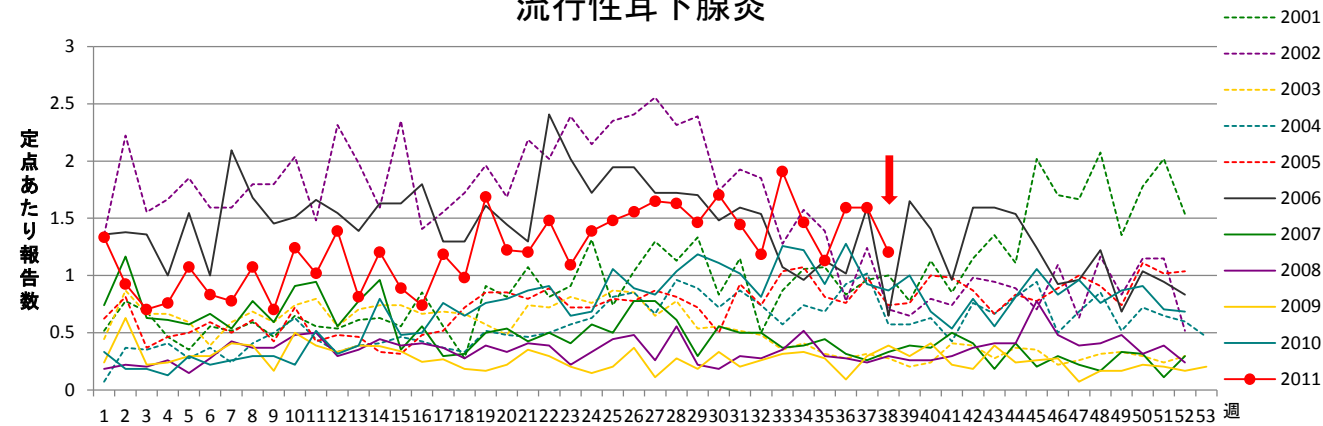
百日咳



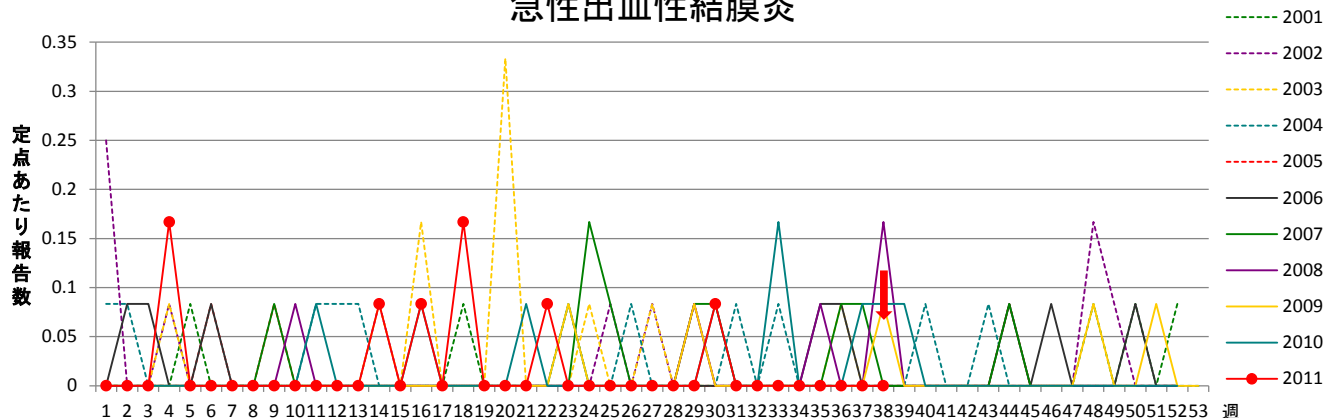
ヘルパンギーナ



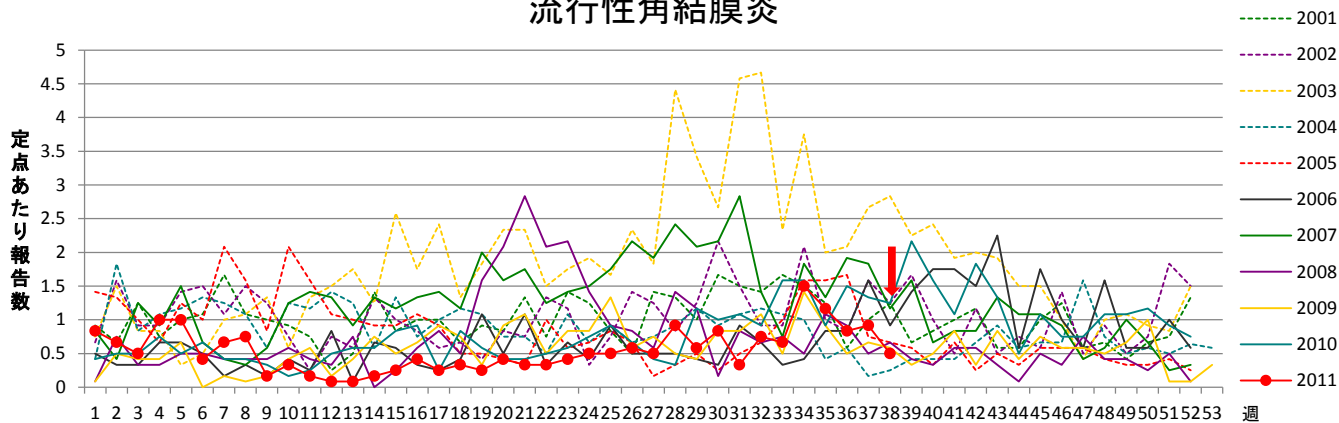
流行性耳下腺炎



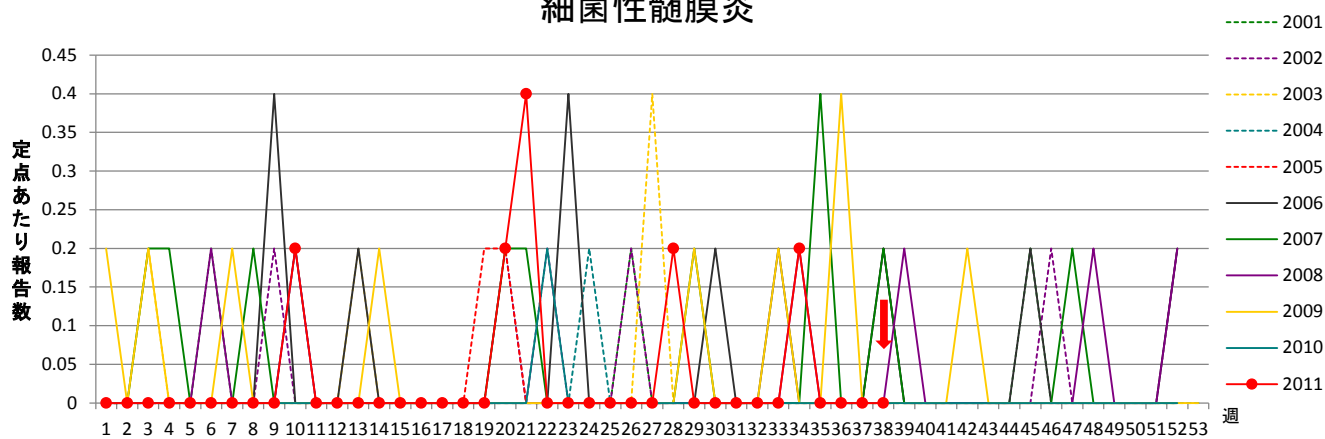
急性出血性結膜炎



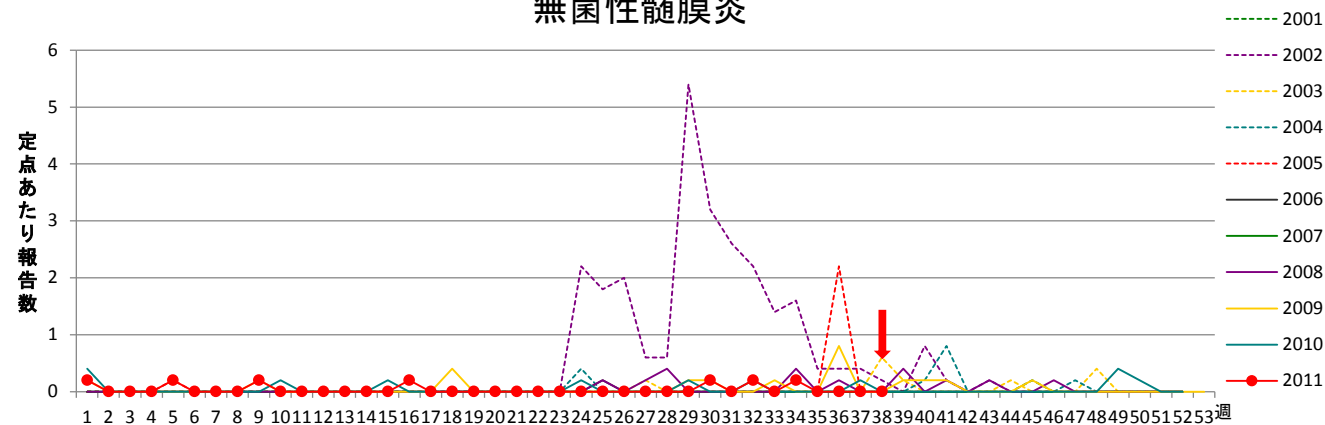
流行性角結膜炎



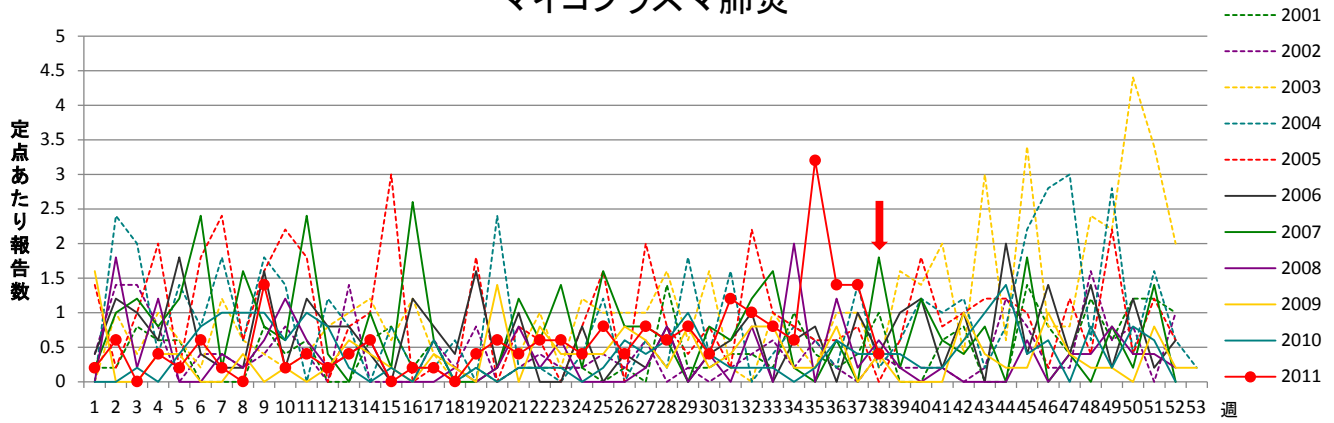
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

